



かつて、映画はライブだった！

映画が誕生したのは1895年。最初の30～40年間はフィルムに音を付ける技術がなく、映画はスクリーンの横で奏でられる生演奏と共に楽しまれていました。この時代の映画は「サイレント映画(無声映画)」と呼ばれています。この上映会では、そのような当時の上映スタイルでサイレント映画をお楽しみいただけます。サイレント映画の伴奏を専門に活動する鳥飼りょうのピアノと特大スクリーンの迫力でお楽しみください。

観覧無料

ピアノ生演奏で観るサイレント映画の愉しみ

# ロイドの要心無用

— Safety Last! —

監督/フレッド・C・ニューメイヤー サム・テイラー

出演/ハロルド・ロイド ミルドレッド・デイヴィス ビル・ストローザー

映画史に残るスタントを目撃せよ！ ロイドが繰り広げる笑いとスリルの世界

11月4日(月・祝)

開場 13:00～

上映 13:30～14:45

休憩 14:45～15:00

トークショー 15:00～15:20

出演：鳥飼りょう(ピアノ)

会場：コンベンションホールAB

主催：奈良県コンベンションセンター

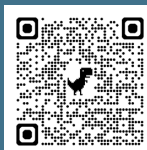
協力：無声映画振興会

問合せ先 奈良県コンベンションセンター

URL：<https://www.nara-cc.jp>



鑑賞事前申込はこちら >>>





## ロイドの要心無用 / あらすじ

(1923年/アメリカ/73分)

ハロルドは恋人ミルドレッドと将来の結婚を誓い、都会に出て出世を目指す。しかし、ハロルドが就職したのはデパートの店員。それでも彼は見栄を張り、高価なプレゼントを送る。ミルドレッドは恋人が成功したと思い、ハロルドに会うため都会へ向かうが…。三大喜劇王の一人ハロルド・ロイドの代表作。大時計の針にぶら下がるシーンは映画史に残る名シーンで、『プロジェクトA』や『バック・トゥ・ザ・フューチャー』など後の映画で何度もオマージュされている。



# SILENT FILM

# SILENT FILM



## プロフィール

### サイレント映画の楽士。ピアノ、打楽器を演奏。

2012年、Planet+1で大森くみこが活動弁士を務めるユニット「深海無声団」の打楽器奏者としてデビュー。その後2015年に、神戸映画資料館でピアノのソロ伴奏デビュー。全ジャンルの映画に即興で伴奏をつけ、これまでに伴奏した作品数は800以上。国内外の映画祭や劇場等での伴奏付き上映に多数出演している。2018年、神戸発掘映画祭で行われたフィルムアルヒーフ・オーストリアの修復による『オーラックの手』デジタル復元最新版のワールド・プレミア上映で伴奏を担当。2021年、ピアノを常設する映画館を巡る全国ツアー「ピアノ×キネマ」を開催。同年より、国立映画アーカイブ主催の「サイレントシネマ・デイズ」にも出演。定期上映としては、Planet+1の「映画の樹シリーズ」(2015年～)、元町映画館の「SILENT FILM LIVE」(2018年～)、第七藝術劇場・シアターセブンの「アフター・リュミエール」(2021年～)でそれぞれ伴奏を担当(いずれも継続中)。現在最も上映会で演奏する楽士のうちの一人として関西を中心に活動している。無声映画振興会代表。



## 鳥飼りょう (ピアノ)

X(旧Twitter) : @ryo\_torikai

Instagram : ryo\_torikai

Facebook : ryotorikai.music

